

【第2回療育研修会】

□開催日：2024年2月23日（金）

□内容：

『発達障がいにおける医療と福祉との連携』をテーマに講演会とグループワークを実施。

<第1部>（13：00-14：30）

講演会 「連携を考える～医療側の思い～」

講師 川谷 正男 先生（福井県こども療育センター小児科医）

「医療と福祉との連携～連携のために必要なこと～」

講師 光真坊 浩史 先生（一般社団法人全国児童発達支援協議会理事）

<第2部>（14：40-16：00）

グループワーク 連携でよかったこと、困ったこと、こんな連携ができればいいな

『発達障がいにおける医療と福祉との連携』をテーマに講演会とグループワークを実施しました。講演会では、医療の面から考える連携を川谷先生に、福祉の面から考える連携を光真坊先生お話しいただきました。本人、家族を取り巻く支援者に医療、福祉、教育と立場は違えど上下関係はなく、よりよい支援のために様々な機関や人が繋がりがやすい体制を構築していくことの必要性を改めて感じる機会となりました。グループワークでは、連携について活発な意見交換が行われました。このような機会を通じて顔がみえる関係作りを今後も進めてまいりたいと考えています。

□参加人数

※第1部に関しては、オンデマンド配信を実施。

会場	オンデマンド
43名	17名

□参加者の声（一部）

<第1部>

- ・こども療育センターの先生のお話など、賛同できることがたくさん出てきました。だからこそ医療機関とのかかわりについて相互でよい方法に進めていけると良いと思います。
- ・医療との連携について、どうしても壁を意識してしまいがちであったが、今回の講演会に参加することで、医療機関との連携への手掛かりが見えてきたため、そのことを業務に活かしていきたいと感じる。
- ・光真坊先生の「制度をこうすると良い」という考えを、もっと聞きたいです。
- ・医療と福祉の立場をそれぞれ合わせて聞くことができて良かったです。
- ・医療の困り感や医療の立場のことを話してくださったので、とても参考になりました。

・連携体制を構築するうえで、医療側・福祉側の両方の視点からお話を伺え、今後の摺り合わせの参考になった。また、療育センターの取り組みや考えを知り、福祉サイドとしてもっと努力が必要だと感じました。

・医療側、福祉側、お互いの理解をより深める必要があると感じました。

<第2部>

・顔を突き合わせた会で意見を交換することで、顔見知りの関係になれたことはよかった。また、時間が足りなかったのは残念なので、またこういう機会があれば他のスタッフにも勧めて参加したい。

・とても楽しかったです。次は地域ごともよいのかと思いました。

・顔の見える関係。今後も毎年作っていただきたい。

・いろんな職種の方と、それぞれの職種の立場から話を聞いてよかった。

・事前に事例を集めてセッションしてみたいです。

・様々な角度から見た、医療機関への思いや取り組みや課題を聞くことで、福祉と医療機関との繋がりや拡がりイメージすることができた。

・新しいつながりを持つことができました。

・グループの人たちと名刺交換ができて、繋がりを持てた点はとても良かったです。他のグループの人たちとも交流できると良かったと思います。

・思いのある方々と話ができて、とても刺激を受け良かったです。今後も医療と福祉、教育が意見交換できる研修があると嬉しいです。

